

小学生向け課外授業、多彩な「先生」招く

編み物が得意なお母さん、木を切るのがうまい大工さん。そんな大人たちに先生になってもらい、小学生向けに「放課後教室」を開いている。東京都内の小学校などで約600回実施、1万5000人以上が参加した。カッコいい大人の背中を見せると、子どもたちの目は輝いていく。

3月に勤めていた百貨店を退職、退路を断って「放課後」づくりに全力を注ぐ。教育に関心を持ったのは第1子が誕生した2004年。小学生を狙った事件が相次いでいた。「子どもは外で自由

平岩 国泰氏

フォーカス



豊かに学ぶ場 放課後に

に遊ばず、家でゲームばかりしている」。安心して豊かに過ごせる放課後が必要だと思った。

そこで大学時代の友人と活動を始める。当初は子どもが集まらず、小学校にチラシを持って行っても門前払い。公園で配ると不審者と勘違いされた。地域のツテを頼って細々と開催していくにつれ、口コミで評判が広がり、先生も生徒も来てくれるようになった。

プロのアナウンサーが天気予報の読み方を教えたり、80歳の女性が茶道のたしなみを披露したり。文化やスポーツ、音楽や手品など、体験型で手の込んだプログラムを140以上用意してきた。「ゲームより面白く、塾より学びがある放課後を！」がモットーだ。

09年に特定非営利活動法人（NPO法人）の放課後NPOアフタースクールを設立。11年5月からは新渡戸文化学園（東京都中野区）と共同で、初の常設の拠点を構えて活動を始める。

「ひらいわ・くにやす、

37歳